

光が丘第二中学校 学校だより

TEL 3976-9202 FAX 5383-3608

https://www.hikarigaoka2-j.nerima-tky.ed.jp





学校評価アンケートに

ご協力ありがとうございました

校長 山田 美鈴

学校評価アンケートは、年度ごとの教育活動を教職員・生徒・保護者それぞれが振り返り、次年度の教育計画に反映させていくため、毎年行っているものです。

今年度も本校の教育活動に関しまして、生徒および保護者の皆様にアンケート調査のご協力をいただきました。

この学校だよりの紙面で集計結果および学校としての回答を報告させていただきます。

今年度も学校評価アンケートは WEB 上での回答とさせていただきました。保護者の皆様への回答依頼につきましては学校連絡メールで3回ほど連絡させていただきました。ご多用の中、お手数をおかけいたしましたが、できるだけ多くの方々のご回答をいただき分析することが重要であると考え、重ねてのお願いとなってしまいました。その結果、保護者の回答率は昨年度とほぼ同率の88.1%となりました。皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。生徒の回答率は82.3%と保護者の回答率より低く、昨年度とほぼ同様の回答率でした。来年度に向け改善を図ってまいります。

今年度はこれとは別に「授業評価アンケート(生徒対象)」を1、2学期末に授業者ごと実施し、授業改善に役立ててまいりました。

昨年度回答しにくいという保護者の方からのご意見をいただきましたので、今年度は評価項目の改善を行い、学校経営方針に則った内容により近づけるため保護者の皆様にアンケート項目として 15項目、生徒のアンケート項目として 10項目の質問を設定いたしました。

集計結果は、回答のA「とてもあてはまる」を5点、B「おおむねあてはまる」を4点、C「どちらとも言えない」を3点、D「あまりあてはまらない」を2点、E「あてはまらない」を1点として計算し、全体の平均点を1~5点までの数字で表しています。数値が4.0を越えた場合は「概ね肯定的な評価をいただいた」ととらえております。一方、評価数値が4.0点に満たない項目については、「本校の取組に課題がある」と受け止めております。

また今回もアンケートに記述欄を設けました。数々のご意見・ご要望をいただきました。それらの内容につきましては、次年度の教育計画を作成するにあたり、十分参考にしていきたいと考えております。

〇令和5年度 学校教育に関する意識調査集計結果く保護者>(2~4)ページ

〇令和5年度 学校教育に関する意識調査集計結果 〈生徒〉 (4~5) ページ

〇保護者・生徒アンケートの集計結果を受けて (6~7)ページ

今回掲載しましたアンケートの集計結果および学校の見解につきましては、2月16日(金)に開催する学校評議員会でも報告いたします。そして学校評議員の方々から本校の教育活動に対するご意見をいただく予定です。

保護者・生徒アンケートの結果を受けて

1 ICT機器、黒板、配布資料等を活用した学習活動の充実

本校では今年度「ICT 機器の利活用による授業改善」をテーマに校内研修を進めてまいりました。生徒に1人1台のタブレット端末が配布され、個別最適な学習を保障し、現学習指導要領で求められている確かな学力を定着させるためには、教師主導の一斉授業から脱却しなければなりません。予測不可能なこれからの時代を担う生徒たちに身に付けさせるべき力は、確かな情報を取捨選択し、仲間と考えを伝え合い高め合っていく力だと考えます。将来に活かせる真の学力構築を目指し、来年度もICT機器を活用した授業改善と主体的対話的な学びの充実を図ってまいります。

2 学ぶ意欲を引き出すわかりやすい授業

保護者の数値が3.62、生徒の数値が4.17という結果になりました。本校では今年度より生徒授業評価アンケートを授業者ごとに行い、その結果に基づいた授業改善を図っております。今後も率直な生徒の意見を真摯に受け止め、授業改善を図ってまいります。保護者の皆様におかれましては、ぜひ学校公開日にご来校いただき、授業の様子を見ていただければ幸いです。

3 個々の学習状況に応じた補充的な学習指導や課題の提供

保護者の評価は3.11でした。特にCの「どちらともいえない」が高い数値となっており、生徒の補充学習や個別指導に改善が必要であると考えます。放課後や試験前、また長期休業中の取組をさらに工夫し、保護者にもご理解いただける補充学習の充実を図ってまいります。

4 体力の向上と健康促進の取組

体力テスト結果とその分析につきましては別紙報告書をご覧ください。

本校の生徒の体力は、全国・東京都・練馬区で比較してもあまり高いとは言えません。以前から本校の課題であると捉え、今年度は夏季休業中に「家庭でできる体力向上プログラム」を提示いたしました。何かしらアクションを起こしたところで、すぐに結果が出るわけではありませんが、日常的に体を動かすことを意識していく必要があります。学校の体育授業、運動部活動のみならず家庭で気軽にできる取組を紹介するなど、学校と家庭が協力し合って課題改善が図れるよう、今後も取り組んでまいります。

5、6、11 考えや悩みを話せる雰囲気や相談や連絡ができる体制

生徒への質問「先生は生徒の不安や課題をわかろうとしている」の評価が4.03と高い数値になりました。本校の学校経営の柱にしている「誰一人取り残すことのない指導・支援」を全教職員が理解し実践してきた結果と捉えております。保護者や生徒が些細なことでも心を開いて話し合える雰囲気づくりに、引き続き全教職員で取り組んでまいります。

7 あいさつやマナー等の基本的な生活習慣の確立

この項目については保護者、生徒ともに4.0以上という高い数値になりました。

本校では毎朝始業前に朝読書を行い、落ち着いた状態で校内生活がスタートしています。また小中合同あいさつ 運動や生徒自ら自主的に取り組んでいるあいさつ運動など、あいさつの励行に関する高い意識が本校の伝統になり つつあります。生徒会で定めた「光二中五力条」をよき伝統として、これからも遵守してまいります。

8 キャリア教育(職業関連学習・進路指導等)を通しての適切な情報提供

保護者評価では、3学年保護者の数値が最も高い結果となりました。

本校では小学校からの義務教育9年間において、小中連携教育の研究を通して「目指す15歳の姿」を具体的に イメージさせたキャリア教育を展開しております。将来への夢と希望を膨らませ、義務教育修了とともに自分なり のキャリアプランを歩んでいけるよう、有意義なキャリア教育を今後もさらに展開させてまいります。また生徒の 体験的活動が保護者にも広く知っていただけるよう、工夫してまいります。

9 朝読書などを通した読書活動

小中学校の学習指導要領では、あらゆる学校教育活動において言語活動の推進を掲げています。言語活動の根本となるのが良書との出会いであり、思考・判断・表現の力を高めていくためにも読書が有効です。学年末には、朝読書の集大成として「ビブリオバトル」の活動に発展させていきます。良書を熟読し、その良さを他者に表現していくことで、多面的な学力を身に付けていきます。

10 施設設備の管理

保護者評価は4.02という高い評価を得ることができました。本校用務主事さん方は、たいへん熱心に環境整備に努めています。また以前廊下が滑りやすいというご意見を頂戴し、使用ワックスを変更するなど、生徒の安全第一で環境整備に努めております。おかげで本校生徒は清掃活動も熱心に行っており、「学校や教室の美化に努めている」という生徒の質問項目に対し4.23という高い数値が出ております。

「環境が人を育てる」と言います。引き続き安全かつ衛生的な施設設備を心がけてまいります。

12 特別に支援を必要とする生徒の対応とその理解

保護者は約3割がCの「よくわからない」と回答しており、生徒は「相談室や特別支援教室(マイステップアップルーム)の存在や利用方法」において A~E 全ての回答がほぼ同率でした。保護者の皆様には年度始めの保護者会にて、また生徒へは年度始めの学年学級オリエンテーション等で相談室や特別支援教室(マイステップアップルーム)の活用方法等について、丁寧に説明していく必要があると感じました。

13 有意義で生徒が活躍できる学校行事

この項目につきましては非常に高い4.32という数値になりました。本校では生徒の主体性を重んじ、事前の 企画・運営をできるだけ生徒に任せ、実行委員会を中心とした取組を進めてまいりました。勝敗がかかった行事 も勝敗のみにこだわるのではなく、本番当日を迎えるまでの過程を充実させた行事を行うことができました。

合唱コンクールは例年「練馬文化センター」を使用しておりましたが、昨年に引き続き今年度も改修工事のため、「光が丘 IMA ホール」にて開催いたしました。近いという利点はありますが会場の人数制限により、来賓無しの見学者入れ替え制とさせていただきました。来年度はまた練馬文化センターに戻し、入場制限無しで実施したいと考えております。ぜひご都合をつけてご来場ください。

運動会、合唱コンクールの二大行事のみならず本校の伝統となった百人一首大会も年々レベルアップしてきて おります。学年行事も学年ごとの特色を活かした内容の充実を図り生徒の活躍場面を今後も増やしてまいります。

14 小中連携・地域連携などの活動の周知

この項目も4.05と高い数値になりました。

本校では令和3、4年度の2年間、隣接する光が丘春の風小学校との小中一貫教育に関する研究を進めてまいりました。その研究をきっかけとして今年度もさらに活動場面を増やし、充実した小中連携が図れています。光が丘春の風小学校の校内には、本校の美術部、書道文芸部の作品が常時展示されています。また両校には小中連携の活動の様子が一目でわかる掲示板を設置しています。

そして学校ホームページや正門前の掲示板では、本校生徒の学校生活の様子を写真で紹介しております。 ぜひ ご覧ください。

15 電話や来校者に対する対応

この項目も4.27という高い数値になりました。

「教育者こそ最大の教育環境である」という言葉があります。我々教職員こそ、誠意をもって電話対応や来校者の対応をするべきであると感じます。教育者として生徒の模範となる立ち振る舞いをこれからも心がけてまいります。

今年に入り、「sigfy」を導入し、欠席遅刻連絡や配布資料の添付などに活用しております。メール機能もありますが、本校は重要な連絡などは直接電話や対面での対応を重視しております。